

美幌町学校運営協議会だより

2

※E-Mail kyouikug@town.bihoro.hokkaido.jp

美幌町ホームページ：教育委員会/小中学校からのお知らせでもご覧いただけます

令和4年7月1日発行

美幌町教育委員会
コミスクコーディネーター

感染対策の中で運動会を開催！！

運動会のシーズンになりました・・・寒さを吹き飛ばすような保護者の方の暖かな応援も密を避けての取組となりました。今年も、観客の人数を制限し、時間も短時間で行うように学校も工夫をしながらの開催でした。本当なら、家族の応援はもちろんのこと、3月に卒業していった先輩方の声援も、地域の方々と一緒になった種目参加も、チーム一丸となろうとする応援団リーダーのかけ声と応援歌など、地域の核として存在する学校の大きな行事でした。美幌小学校は、教育活動の継続とコロナ対策の両立を図り“運動会”を改め“美小スポーツデー”として開催しました。どの学校も、子どもたちも置かれた環境の中で運動に親しみ、マスクをしながら競技参加してがんばり、チームで協力する大切さを学んだことと思います。（今年は、グラウンドの外から見させていただきました）



◆東陽小の玉入れの様子



◆北中：開会式から



※旭小 大玉転がし 通信から借用了。

大きく育て

ひまわりの種

東陽小学校運営協議会の活動の紹介 その2

東陽小学校の子どもたちがコミスクと協働で“ひまわりの種植え”を6月9日(木)に行いました)



毎年取り組んでいる行事ですがコミスクの正木委員さんからお話を聞いた後、それぞれに割り当てられたところで種を植えました。

1年生は、入学して初めての取組なので、指でちいさな穴をあけ、2～3粒ずつ入れて土をかぶせていきました。

通りがかった地域の方からも、「今年も植えたんだね。(〇〇)毎年きれいに咲くから楽しみにしているよ」と声かけしていただきました。

図書館の2階ギャラリーで、6月11日～25日の15日間、小中学校で使用されている教科書の展示会が開かれました。

小学校は令和5年度まで、中学校は令和7年度まで使われる教科書です。教科書は、いろいろな会社で発行しており、小学校の英語やプログラミングの学習などどう扱っているか見比べてみると違いを感じることがあります。

教科書展示会



【小学校の英語】

3つのきょういく応援団としてみんなで“**できること**”をしてみませんか？



広報美幌7月号に、学校運営協議会の3つのきょういく応援団へのお誘いを掲載しました。

社会教育活動が活発な美幌町に学校運営協議会を各学校に設置し、その活動を支える3つのきょういく

く応援団を募集して2年が過ぎようとしています。

“ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために”というスローガンで保護者の方々も子どもの頃、学校の仲間、クラブや部活、少年団の仲間とともに活動されていたのではないかなと振り返るこの頃です。

時代が変わり、少子高齢化や情報化が進んできた今人との関わりが薄くなってきた課題があります。

ひとりで頑張って課題を解決するのは、大変なことです。

応援団は、強制されるものではありませんが“**できるときに、できる人が、できることを**”とはどんなことだろうか一緒に考えてみませんか？

応援団参加申込書のサンプルを回覧していただくようにしました。

コロナ禍だからできることは限られてきますが、子どもたちが笑顔で、自信を持って活動できるように、未来の美幌を築く為に、美幌の良さを伝えていける応援団にしませんか？

＜応援団の活動として＞

- ① 自分の特技や経験・知識を活かして共に学習する
- ② 学校が行う活動の協力(環境整備や行事のサポート)
- ③ 地域の中で安全確保やサークル活動での協働 など

安全に注意して



子どもたちの下校時における声掛けが起きています。

「どこいくの?」、「車に乗っていかない?」などの不審な声掛けや、あとをついてきたり車の中から写真を撮るなどという事例が見られます。このような事例が発生した場合には、まず警察へ通報し、その後、学校へも連絡をお願いします。 事件・事故発生防止には、子どもたちが変だと感じる事があれば親に話をするように普段から話し合っておくことも大切だと思います。

ある町の生活習慣として、交差点で信号待ちをしているときに、止まっている車の運転手さんの目を見てお互いに「ペコリ」と会釈をするようにしているそうです。子どもも、自分が歩きだしても安全なのかを確認できるし、運転手からも、子どもが急に飛び出さないか?を確認できるので事故が起きていないということでした。気持ちの良い挨拶運動(声掛け)による和やかな落ち着いた生活環境づくりにもつながっているのだと感じました。